

# 羊肉の輸入

## 1. はじめに

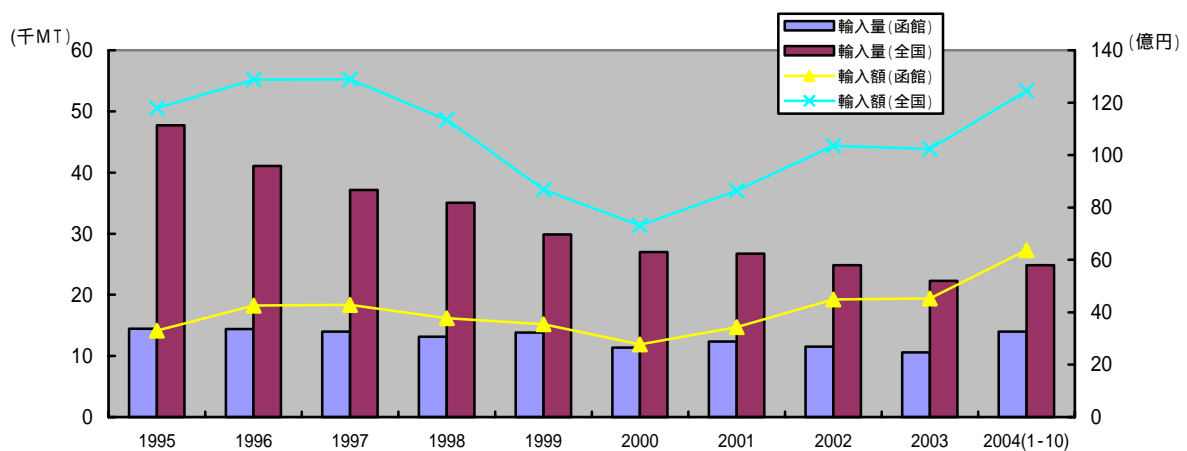
ここ数年間、全国的に羊肉の輸入額がどんどん増加しています。その一方で、輸入量はどんどん減少しています。にも関わらず、函館税関管内では輸入量がほとんど減少せずに、今年にいたっては10月までの実績で既に輸入量、輸入額共に過去10年間での最高記録を更新するほどの勢いです。羊肉といえば、北海道ではジンギスカンの材料としてなくてはならないもので、以前からオーストラリア、ニュージーランドなどから輸入されており、輸入羊肉は北海道民にとってなじみの深いものですが、これはもしかすると、価格の上昇にも関わらず輸入量が増えているということなのでは？だとすればジンギスカン人気恐るべし！！というわけで、今回は羊肉（関税率表番号 0204.10-000～0204.43-000）の輸入を特集してみました。

## 2. 輸入の傾向

下のグラフは過去10年間の羊肉の輸入量と輸入額を表したものです。

（注：以下のグラフ、文中に引用されるデータのうち2003年までのものは確定値、2004年のものは確報値です。）

羊肉の輸入量及び輸入額の推移



輸入量は1995年に日本全国で約47,735トンが輸入され、このとき函館税関管内で

は約 14,446 トンと全国の 30.3%程を占めるに過ぎませんでしたが、その後全国の輸入量が減少を続け、昨年では約 22,250 トンまで落ち込んだのに対して、当関では目立った減少は見られず昨年でも約 10,561 トンと 1995 年に比べて約 4,000 トンの減少に留まり、全国に占める割合も 47.5%を占めるまでになりました。今年は 10 月までの実績で、約 14,014 トンと前年の同時期に比べて約 1.5 倍の量が輸入されています。

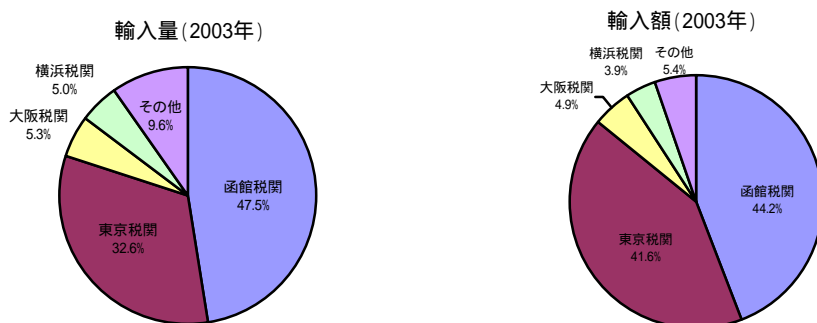
一方、輸入額は全国、函館税関管内ともに 2000 年までは減少していたものの、2000 年を境に増え続けており、昨年は全国で約 102 億 3 千万円、当関でも約 45 億 2 千万円、今年は 10 月までの実績で、全国では約 124 億 5 千万円と前年の同時期に比べて 42.3%増、当関では約 63 億 7 千万円と前年同期比で 59.2%増となっています。

このように、全国では輸入量は減少傾向にあるにも関わらず、北海道を含む函館税関管内では輸入量にそれほど目立った減少は見られません。これには北海道とその他の地域では羊肉の用途が異なることが大きな要因となっているようです。北海道以外の地域では、フランス料理などの高級食材として輸入される羊肉もあるものの、主たる用途としてはハムやソーセージの安価な材料としての使用が多かったことから、最近の豚肉の価格下落に伴って、羊肉の需要も減少してきたことが大きな原因となっているようです。それに対して北海道での輸入羊肉の用途といえばやはりジンギスカン！北海道民の食生活にジンギスカンが根強く定着しており、恒常的な需要があることが他の地域との輸入量の違いとなって現れているといえそうです。

一方、輸入額の上昇については、羊の大量消費国であるイギリスで B S E が発生して以来、イギリスの消費者が国産の牛肉を敬遠するようになったため、その分ニュージーランドを始めとする外国産の羊肉の需要に更に拍車がかかったこと、また羊肉の生産国であるオーストラリアやニュージーランドで干ばつの影響や酪農への転換などから、飼育頭数そのものが減少していることなどを原因とする世界的な羊肉の値上がりに加えて、2000 年以降オーストラリアドル、ニュージーランドドルに対して、円安傾向が進んでいることなどが大きな原因となっているようです。

### 3 . 税関別輸入実績

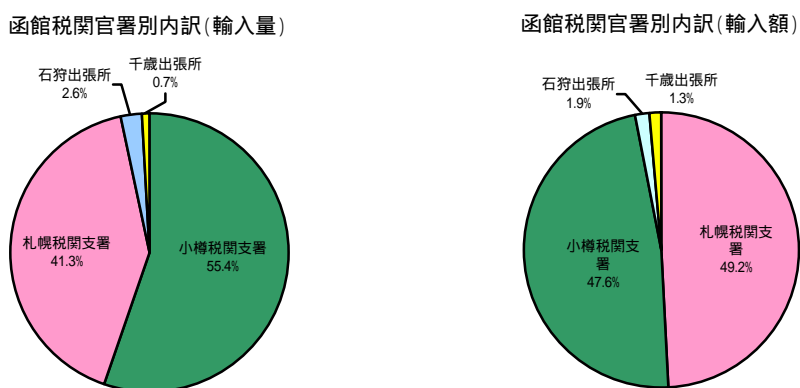
2003 年輸入実績の税関別内訳は以下のようになっています。



輸入量では 2003 年に日本に輸入された約 22,250 トンのうち、函館税関が約 10,561 トンと 47.5% を占めてトップ、続いて東京税関が約 7,249 トンで 2 位となっており、この 2 つの税関の実績を合わせると全国の約 80% を占めることになります。

輸入額では全国の輸入額約 102 億 3 千万円のうち、やはり函館税関が約 45 億 2 千万円と 44.2% を占めてトップ、続いて東京税関が約 42 億 6 千万円と僅差で第 2 位となっています。

函館税関管内の輸入実績を更に官署別に見てみると、以下のようになります。



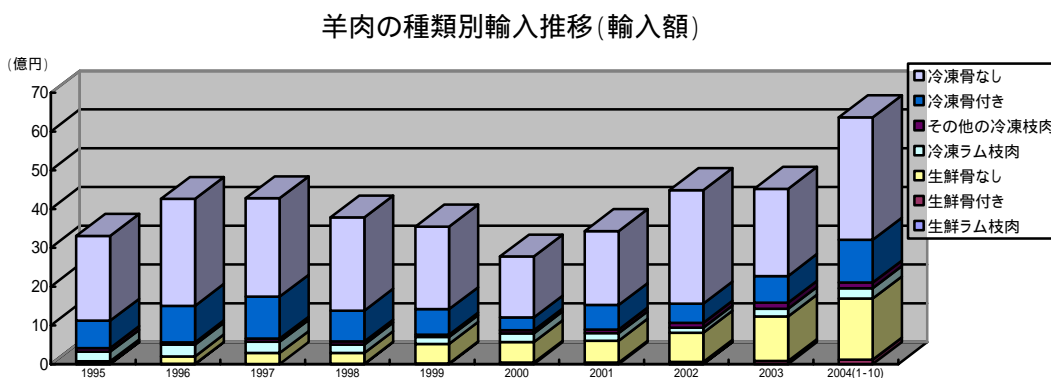
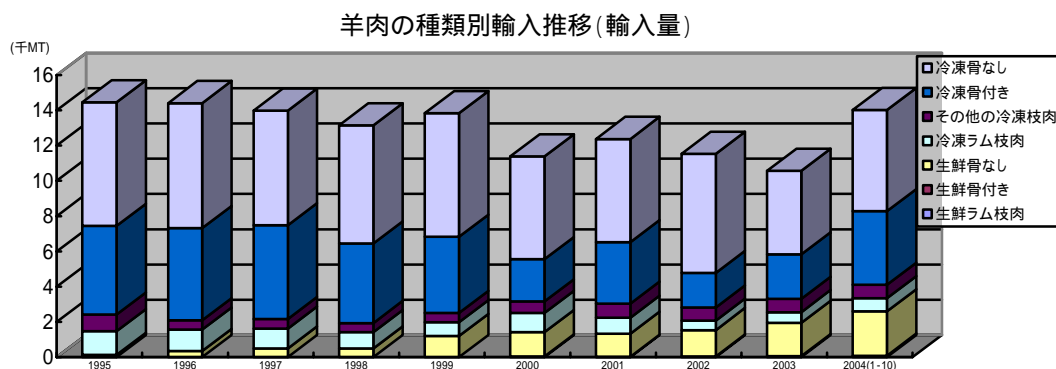
輸入量では当関管内全体の約 10,561 トンのうち 55.4% にあたる約 5,847 トンの通関があった小樽税関支署が第 1 位、続いて札幌税関支署が約 4,365 トンと 41.3% を占めて第 2 位、更に石狩出張所、千歳出張所と続いています。

一方、輸入額では当関管内全体の 45 億 2 千万円のうち、札幌税関支署が約 22 億 3 千万円と 49.2% を占めて第 1 位、続いて小樽税関支署が約 21 億 5 千万円と僅差で第 2 位となっています。

## 4. 種類の変化

羊肉は関税率表上、生鮮又は冷蔵の子羊の枝肉・半丸枝肉（統計品目番号 0204.10-000 以下、「生鮮ラム枝肉」と表記）、生鮮又は冷蔵のその他の羊の枝肉・半丸枝肉（統計品目番号 0204.21-000 以下、「その他の生鮮枝肉」と表記）、生鮮又は冷蔵のその他の骨付き肉（統計品目番号 0204.22-000 以下、「生鮮骨付き」と表記）、生鮮又は冷蔵の骨付きでない肉（統計品目番号 0204.23-000 以下、「生鮮骨なし」と表記）、冷凍の子羊の枝肉・半丸枝肉（統計品目番号 0204.30-000 以下、「冷凍ラム枝肉」と表記）、冷凍のその他の羊の枝肉・半丸枝肉（統計品目番号 0204.41-000 以下、「その他の冷凍枝肉」と表記）、冷凍のその他の骨付き肉（統計品目番号 0204.42-000 以下、「冷凍骨付き」と表記）、冷凍の骨付きでない肉（統計品目番号 0204.43-000 以下、「冷凍骨なし」と表記）の合計 8 つの種類に分けられます。函館税関管内におけるその種類ごとの推移を表したのが次のグラフです（その他の生鮮枝肉については、1995 年以降当関では輸入実績がありません）。

（注：枝肉とは皮をはぎ、内臓・頭・尾・肢端をとり去った、骨付きの肉のことです（広辞苑 第三版））



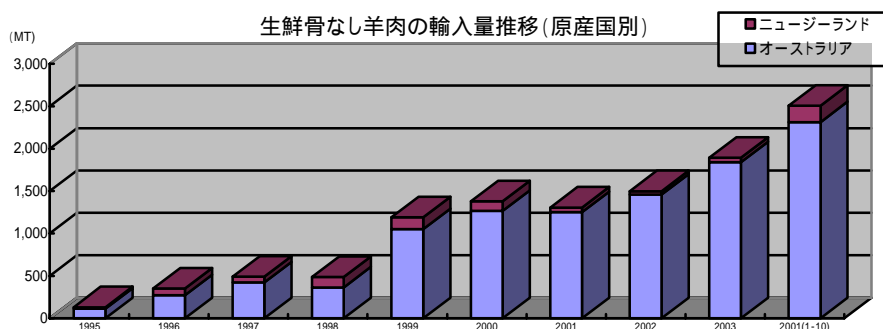
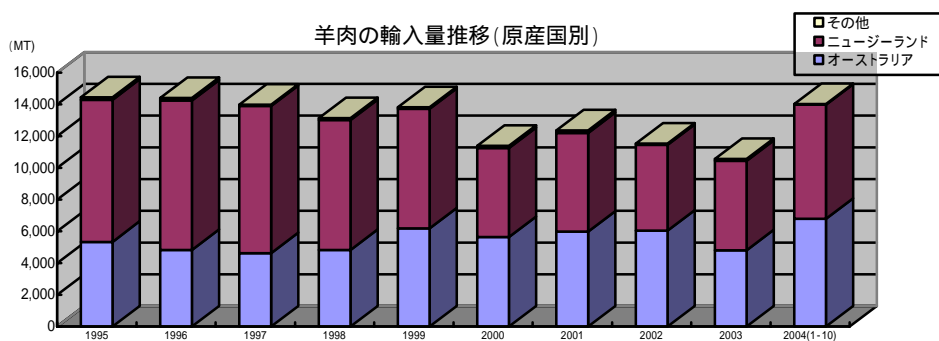
輸入量、輸入額共に今も昔も最も大きなシェアを占めているのは冷凍骨なしのもので

すが、1995年以降、特に大きく伸びているのは生鮮骨なしのものであることがわかります。輸入量では1995年には約130トンしか輸入されず、函館税関管内で輸入された羊肉のうちわずか0.9%程に過ぎなかったのが、今年は10月までで既に約2,506トンと19.3倍になり、当関の羊肉輸入量のうち17.9%を占めるまでになりました。また、輸入額では1995年には約6千万円であり、当関管内で輸入通関された羊肉のうち1.9%程だったのが、今年は10月までで既には約15億8千万円と24.6倍にもなり、当関の輸入羊肉全体でも24.8%を占めるまでになりました。

最近ではスーパーマーケットなどでも生鮮（チルド）の羊肉が売られているのを見かけるようになりましたが、生鮮のものの輸入が増えていることには、冷凍のものに比べて味がよい、または羊肉独特の臭いが比較的気にならないという消費者の嗜好が大きく関係しているようです。

## 5. 原産国

次に、函館税関管内における羊肉全体の輸入量推移と、このように急激に伸びてきた生鮮骨なしのものみの輸入量推移を、それぞれ原産国別に表してみると以下のようになります。



このように羊肉全体では、従来ニュージーランド産のものが多かったのが、最近ではオーストラリア産のものとニュージーランド産のものがほぼ拮抗するような形で推移してきたのに対し、生鮮骨なしの状態では輸入される羊肉は、圧倒的にオーストラリア産が

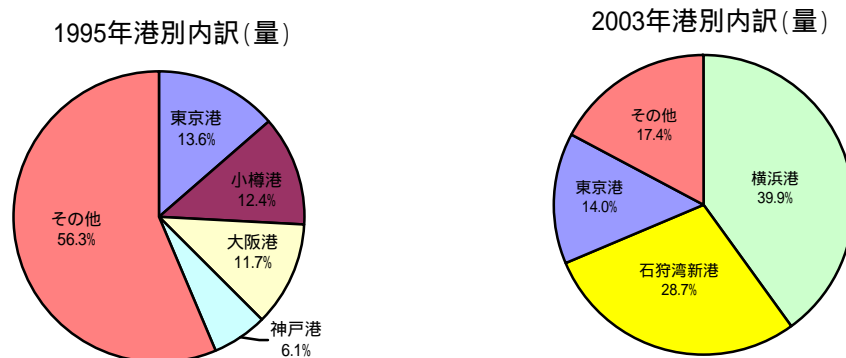
多くなっています。

では、北海道を含む函館税関管内で輸入される生鮮（チルド）羊肉のほとんどをオーストラリア産が占めるのはなぜなのでしょう。それには同じ羊肉の生産国でありながら、オーストラリアとニュージーランドとでは羊の利用方法が伝統的に異なっていることが関係ありそうです。オーストラリアもニュージーランドももとはイギリスの植民地でしたが、ニュージーランドがイギリスの食料基地として位置づけられていたために昔から肉用種の羊を中心に飼育してきたのに対し、オーストラリアでは食肉利用のためというよりは、羊毛を取るためにそれに適した種類の羊を飼育してきたという事情の違いがあります。従って、現在も羊毛はニュージーランドよりもオーストラリアの方が世界市場でのシェアが大きいのにに対し、ニュージーランドは食肉中心でよく生鮮骨なしの状態取引されている羊肉の中でも最高級といわれるロース部分は、世界で羊肉が最も高く売れるといわれているEU市場に多く輸出しているようです。従って、日本は生鮮での取引に適した部分は、ニュージーランドよりも比較的安いオーストラリア産を輸入している、ということのようです。

## 6. 輸送形態の変化

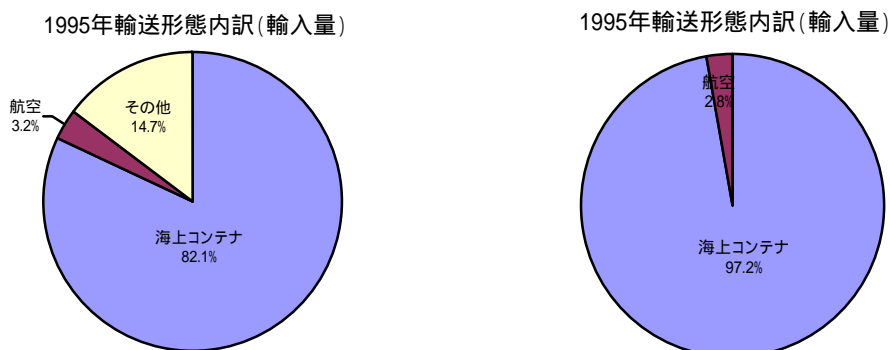
生鮮羊肉の輸入が増加してきたことには輸送形態の変化も大いに関係ありそうです。先程、昨年の税関別輸入実績を紹介しましたが、函館税関と東京税関で全体のほとんどを占め、大阪税関、横浜税関と続いていました。

しかし、輸入羊肉が日本に到着後に船卸された港別の内訳を、1995年と2003年で比較してみると、次のようになります。



1995年には東京港が最も多く、小樽港、大阪港、神戸港と続いています。その他の割合が56.3%と高く、羊肉の船卸港が少量ずつ多数の港に分散していたことがうかがえます。それに対して昨年はオーストラリア、ニュージーランドとコンテナ定期航路で直接結ばれており、国内の他港へのアクセスもよい横浜港に全体の39.9%が集中し、次いで北海道の大消費地札幌に近い石狩湾新港が28.7%とを占めています。

次に、1995年と2003年の輸入量を輸送形態別に比較してみると、次のようになります。



1995年の時点でも海上コンテナが主流となっていました。航空貨物を除けば全てが海上コンテナとなり、バラ積みで羊肉を積んだ船が日本の港に入港することはなかったようです。以前はニュージーランドやオーストラリアから冷凍枝肉、冷凍半丸枝肉を積んだ船が小樽港などに入港し、船卸された枝肉は通関手続きを経て、道内の加工業者のもとで加工され市場に送り出されていましたが、羊肉の加工そのものが激務であり働き手が時の経過と共に不足してきたこと、豚肉や牛肉の価格が下がってきたことによる競争の激化などから、道内の羊肉加工業者数が減ってきたため、最近では生産地で加工済みの可食部分をリーファーコンテナに詰めて日本へ輸送する方が、船をチャーターして輸入後に国内で加工を施すよりも割安となってきているようです。

## 7. 今後の見通し

羊肉の輸入には様々な要因が関係しており、価格の上昇など私たち消費者にとっては少し気になる点もありますが、羊肉は牛や豚に比べてヘルシーでダイエット効果もあることが注目されるようになってきており、北海道民にとってジンギスカンが気軽に楽しめる庶民の味である限り、今後も輸入量は全国の他の地域に比べて高水準を維持し続けるものと思われます。

この資料に関するお問い合わせ、貿易統計資料の閲覧先

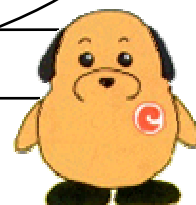
函館税関 調査保税部 調査統計課 TEL 0138-40-4282

FAX 0138-40-4708

\*なお、本資料は函館税関ホームページでもご覧になれます。

<http://www.hakodate-customs.go.jp/>

本資料を転載する際は、必ず函館税関の資料による旨を注記してください。



## 羊肉輸入のデータ集

\* 2003 年以前のデータは確定値、2004 年のデータは確報値です。

### 1. 羊肉の輸入推移

#### 函館税関

|            | 数量 (kg)    | 前年比    | 価額 (千円)   | 前年比    |
|------------|------------|--------|-----------|--------|
| 1995       | 14,446,009 | 95.6%  | 3,305,039 | 104.9% |
| 1996       | 14,406,465 | 99.7%  | 4,258,686 | 128.9% |
| 1997       | 13,981,724 | 97.1%  | 4,276,976 | 100.4% |
| 1998       | 13,137,684 | 94.0%  | 3,783,314 | 88.5%  |
| 1999       | 13,828,063 | 105.3% | 3,544,134 | 93.7%  |
| 2000       | 11,389,039 | 82.4%  | 2,772,043 | 78.2%  |
| 2001       | 12,373,119 | 108.6% | 3,431,489 | 123.8% |
| 2002       | 11,530,948 | 93.2%  | 4,487,077 | 130.8% |
| 2003       | 10,561,402 | 91.6%  | 4,523,171 | 100.8% |
| 2004(1~10) | 14,013,658 | 149.5% | 6,365,539 | 159.2% |

#### 全国

|            | 数量 (kg)    | 前年比    | 価額 (千円)    | 前年比    |
|------------|------------|--------|------------|--------|
| 1995       | 47,734,589 | 101.7% | 11,784,842 | 106.0% |
| 1996       | 41,062,413 | 86.0%  | 12,878,402 | 109.3% |
| 1997       | 37,132,122 | 90.4%  | 12,887,649 | 100.1% |
| 1998       | 35,050,276 | 94.4%  | 11,351,755 | 88.1%  |
| 1999       | 29,877,591 | 85.2%  | 8,682,001  | 76.5%  |
| 2000       | 26,981,177 | 90.3%  | 7,313,450  | 84.2%  |
| 2001       | 26,699,500 | 99.0%  | 8,650,561  | 118.3% |
| 2002       | 24,857,373 | 93.1%  | 10,353,310 | 119.7% |
| 2003       | 22,250,062 | 89.5%  | 10,231,059 | 98.8%  |
| 2004(1~10) | 24,861,847 | 128.9% | 12,450,150 | 142.3% |



## 2. 税関別輸入実績 (2003年)

|        | 数量 (kg)    | 前年比    | 構成比    | 価額 (千円)    | 前年比    | 構成比    |
|--------|------------|--------|--------|------------|--------|--------|
| 東京税関   | 7,249,005  | 83.2%  | 32.6%  | 4,258,475  | 95.5%  | 41.6%  |
| 横浜税関   | 1,123,152  | 102.0% | 5.0%   | 398,930    | 101.7% | 3.9%   |
| 神戸税関   | 467,164    | 119.4% | 2.1%   | 130,342    | 107.2% | 1.3%   |
| 大阪税関   | 1,177,723  | 87.3%  | 5.3%   | 502,475    | 112.3% | 4.9%   |
| 名古屋税関  | 177,429    | 68.4%  | 0.8%   | 55,015     | 76.3%  | 0.5%   |
| 門司税関   | 482,192    | 86.9%  | 2.2%   | 112,596    | 69.3%  | 1.1%   |
| 長崎税関   | 1,011,995  | 105.6% | 4.5%   | 250,055    | 119.8% | 2.4%   |
| 函館税関   | 10,561,402 | 91.6%  | 47.5%  | 4,523,171  | 100.8% | 44.2%  |
| 沖縄地区税関 | -          | -      | -      | -          | -      | -      |
| 合計     | 22,250,062 | 89.5%  | 100.0% | 10,231,059 | 98.8%  | 100.0% |

## 3. 函館税関官署別輸入実績 (2003年)

|        | 数量 (kg)    | 前年比    | 構成比    | 価額 (千円)   | 前年比    | 構成比    |
|--------|------------|--------|--------|-----------|--------|--------|
| 札幌税関支署 | 4,364,516  | 92.1%  | 41.3%  | 2,226,045 | 106.3% | 49.2%  |
| 千歳出張所  | 77,980     | 49.7%  | 0.7%   | 57,754    | 51.7%  | 1.3%   |
| 小樽税関支署 | 5,847,371  | 90.4%  | 55.4%  | 2,153,927 | 96.7%  | 47.6%  |
| 石狩出張所  | 271,535    | 160.7% | 2.6%   | 85,445    | 160.5% | 1.9%   |
| 合計     | 10,561,402 | 91.6%  | 100.0% | 4,523,171 | 100.8% | 100.0% |

## 4. 函館税関種類別輸入量推移 (kg)

|                | 生鮮ラム枝肉 | 生鮮骨付き  | 生鮮骨なし     | 冷凍ラム枝肉    | その他の冷凍枝肉 | 冷凍骨付き     | 冷凍骨なし     | 合計         |
|----------------|--------|--------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|------------|
| 1995           | -      | 6,010  | 129,719   | 1,339,893 | 940,880  | 5,032,481 | 6,997,026 | 14,446,009 |
| 1996           | -      | 985    | 352,286   | 1,221,534 | 515,182  | 5,227,350 | 7,089,128 | 14,406,465 |
| 1997           | -      | -      | 491,707   | 1,136,251 | 546,272  | 5,314,091 | 6,493,403 | 13,981,724 |
| 1998           | -      | 6,333  | 487,593   | 922,096   | 523,641  | 4,502,490 | 6,695,531 | 13,137,684 |
| 1999           | -      | 12,241 | 1,189,343 | 780,334   | 525,451  | 4,318,458 | 7,002,236 | 13,828,063 |
| 2000           | -      | 44,155 | 1,378,473 | 1,093,038 | 650,104  | 2,400,891 | 5,822,378 | 11,389,039 |
| 2001           | -      | 29,792 | 1,305,290 | 900,418   | 800,194  | 3,485,289 | 5,852,136 | 12,373,119 |
| 2002           | 1,316  | 42,862 | 1,498,454 | 541,242   | 739,183  | 1,963,035 | 6,744,856 | 11,530,948 |
| 2003           | -      | 60,938 | 1,891,836 | 602,711   | 757,196  | 2,522,148 | 4,726,573 | 10,561,402 |
| 2004<br>(1~10) | -      | 90,253 | 2,506,222 | 748,836   | 760,157  | 4,181,420 | 5,726,770 | 14,013,658 |

## 5 . 函館税関種類別輸入額推移 (千円)

|                | 生鮮ラム枝肉 | 生鮮骨付き   | 生鮮骨なし     | 冷凍ラム枝肉  | その他の冷凍枝肉 | 冷凍骨付き     | 冷凍骨なし     | 合計        |
|----------------|--------|---------|-----------|---------|----------|-----------|-----------|-----------|
| 1995           | -      | 4,144   | 64,256    | 247,449 | 95,131   | 709,193   | 2,184,866 | 3,305,039 |
| 1996           | -      | 659     | 197,311   | 298,455 | 65,518   | 941,330   | 27,55,413 | 4,258,686 |
| 1997           | -      | -       | 282,912   | 291,873 | 80,195   | 1,082,457 | 2,539,539 | 4,276,976 |
| 1998           | -      | 4,946   | 277,690   | 220,050 | 77,397   | 796,980   | 2,406,251 | 3,783,314 |
| 1999           | -      | 14,143  | 503,046   | 178,335 | 62,640   | 659,923   | 2,126,047 | 3,544,134 |
| 2000           | -      | 34,753  | 529,148   | 229,678 | 75,483   | 332,865   | 1,570,116 | 2,772,043 |
| 2001           | -      | 36,632  | 565,298   | 193,369 | 95,202   | 631,185   | 1,909,803 | 3,431,489 |
| 2002           | 757    | 56,002  | 752,342   | 129,985 | 127,115  | 496,108   | 2,924,768 | 4,487,077 |
| 2003           | -      | 75,557  | 1,151,384 | 199,271 | 155,171  | 690,213   | 2,251,575 | 4,523,171 |
| 2004<br>(1~10) | -      | 112,072 | 1,580,418 | 266,999 | 142,656  | 1,106,259 | 3,157,135 | 6,365,539 |

## 6 . 函館税関原産国別輸入推移

|                | 輸 入 量 (kg) |           |         | 輸 入 額 (千円) |           |        |
|----------------|------------|-----------|---------|------------|-----------|--------|
|                | オーストラリア    | ニュージーランド  | その他     | オーストラリア    | ニュージーランド  | その他    |
| 1995           | 5,342,854  | 8,950,376 | 152,779 | 1,398,909  | 1,871,610 | 34,520 |
| 1996           | 4,820,626  | 9,423,296 | 162,543 | 1,616,144  | 2,603,205 | 39,337 |
| 1997           | 4,633,770  | 9,261,760 | 86,194  | 1,537,739  | 2,718,164 | 21,073 |
| 1998           | 4,833,049  | 8,172,182 | 132,453 | 1,585,707  | 2,160,868 | 36,739 |
| 1999           | 6,182,611  | 7,527,475 | 117,977 | 1,803,123  | 1,707,083 | 33,928 |
| 2000           | 5,639,264  | 5,615,318 | 134,457 | 1,537,390  | 1,204,470 | 30,183 |
| 2001           | 5,983,865  | 6,219,495 | 169,759 | 1,944,005  | 1,442,448 | 45,036 |
| 2002           | 6,047,340  | 5,399,914 | 83,694  | 2,631,472  | 1,830,757 | 24,848 |
| 2003           | 4,812,949  | 5,625,018 | 123,435 | 2,381,086  | 2,105,168 | 36,917 |
| 2004<br>(1~10) | 6,794,127  | 7,181,796 | 37,735  | 3,749,479  | 2,601,692 | 14,368 |

## 7. 函館税関原産国別輸入推移（生鮮骨なし）

|                | 輸 入 量 (kg) |          | 輸 入 額 (千円) |          |
|----------------|------------|----------|------------|----------|
|                | オーストラリア    | ニュージーランド | オーストラリア    | ニュージーランド |
| 1995           | 112,203    | 17,516   | 54,579     | 9,677    |
| 1996           | 271,707    | 80,579   | 150,955    | 46,356   |
| 1997           | 423,106    | 68,601   | 241,651    | 41,261   |
| 1998           | 364,731    | 122,862  | 211,625    | 66,065   |
| 1999           | 1,050,143  | 139,200  | 440,113    | 62,933   |
| 2000           | 1,265,865  | 112,608  | 484,377    | 44,771   |
| 2001           | 1,250,273  | 55,017   | 543,982    | 21,316   |
| 2002           | 1,459,234  | 39,220   | 732,188    | 20,154   |
| 2003           | 1,839,534  | 52,302   | 1,119,813  | 31,571   |
| 2004<br>(1~10) | 2,313,350  | 192,872  | 1,459,282  | 121,136  |

## 8. 港別輸入実績

1995年

|     | 輸入量 (kg)   | 構成比    | 輸入額 (千円)   | 構成比    |
|-----|------------|--------|------------|--------|
| 東京港 | 6,484,635  | 13.6%  | 1,825,491  | 15.5%  |
| 神戸港 | 2,903,920  | 6.1%   | 728,684    | 6.2%   |
| 大阪港 | 5,562,233  | 11.7%  | 1,063,111  | 9.0%   |
| 小樽港 | 5,912,456  | 12.4%  | 1,152,623  | 9.8%   |
| その他 | 26,871,345 | 56.3%  | 7,014,933  | 59.5%  |
| 合 計 | 47,734,589 | 100.0% | 11,784,842 | 100.0% |

2003年

|      | 輸入量 (kg)   | 構成比    | 輸入額 (千円)   | 構成比    |
|------|------------|--------|------------|--------|
| 東京港  | 3,110,368  | 14.0%  | 1,640,520  | 16.0%  |
| 横浜港  | 8,883,001  | 39.9%  | 4,403,057  | 43.0%  |
| 石狩湾港 | 6,394,580  | 28.7%  | 2,495,927  | 24.4%  |
| その他  | 3,862,113  | 17.4%  | 1,691,555  | 16.5%  |
| 合 計  | 22,250,062 | 100.0% | 10,231,059 | 100.0% |

## 9 . 輸送形態別輸入実績

1995 年

|        | 輸入量 (kg)   | 構成比    | 輸入額 (千円)   | 構成比    |
|--------|------------|--------|------------|--------|
| 海上コンテナ | 39,180,261 | 82.1%  | 9,145,547  | 77.6%  |
| 航空     | 1,535,390  | 3.2%   | 1,344,061  | 11.4%  |
| その他    | 7,018,938  | 14.7%  | 1,295,234  | 11.0%  |
| 合計     | 47,734,589 | 100.0% | 11,784,842 | 100.0% |

2003 年

|        | 輸入量 (kg)   | 構成比    | 輸入額 (千円)   | 構成比    |
|--------|------------|--------|------------|--------|
| 海上コンテナ | 21,625,574 | 97.2%  | 9,521,825  | 93.1%  |
| 航空     | 624,488    | 2.8%   | 709,234    | 6.9%   |
| その他    | -          | -      | -          | -      |
| 合計     | 22,250,062 | 100.0% | 10,231,059 | 100.0% |